

平成 20 年度後期岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程入学試験問題

講 座	経済理論・統計, 比較経済, 政策科学, 経営学, 会計学, 組織経済学, 地域公共政策コース
専門科目	ミクロ経済学

以下の 2 問とも解答しなさい。なお、問 1 と問 2 は別々の解答用紙を用いなさい。

問 1

ある財について、価格を p 、数量を x とする。この財に対する需要関数を

$$p = -2x + 20$$

とし、供給関数を

$$p = x + 8$$

とする。このとき、以下の各設問について答えなさい。

- (1) 需給均衡点における需要の価格弾力性 (η_D) と供給の価格弾力性 (η_S) を求めよ。
- (2) このときの消費者余剰 (CS) と供給者余剰 (PS) を求めよ。
- (3) 消費者余剰が 9 増加するには、価格はいくらになる必要があるか。
- (4) 政府がこの財に 1 単位当たり 3 の従量税を生産者に課したとする。新たな均衡点における政府の税収と余剰の (社会的) 損失を求めよ。

問 2

ある財について、価格を p 、数量を x とする。この財に対する需要関数が

$$p = 30 - x$$

で示されるとする。この市場はある独占企業によって支配されており、その企業の費用曲線が

$$c = \frac{x^2}{2}$$

で示されるとする。このとき、以下の各設問に答えなさい。

- (1) 均衡における財の価格と企業の財の供給量と利潤を求めよ。
- (2) 需要関数、限界費用関数、限界利潤関数を図示せよ。
- (3) 独占によってこの市場で発生する経済厚生損失を(2)で描いた図の中で図示せよ。また、その大きさを数値で示しなさい。
- (4) 独占や寡占が生じる原因として考えられるものを 2 つ以上あげなさい。

以上